



2016年を迎えるにあたって

♪ 世界は一つ ♪

校長 羽田野庸史

あけましておめでとうございます。

冬休みは、いかがお過ごしでしたでしょうか。子供たちも普段とは違った経験を積んだことと思います。

今年は、申（猿）年。「申（サル）」が「去る」を意味するとされ、「悪いことが去る」、「病が去る」とも言われます。そのため、いいことや幸せがやってくる年とも言います。本年も保護者や地域の皆様のご支援をいただきながら、教職員一同、東町小の子供たちにとっていいことや幸せなことが一つでも多く訪れるように努力して参ります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

さて、先月4日（金）、韓国より韓国教員訪日研修団20名が東町小を訪れました。日本の学校を訪問し、教育現場を見学することを通して、日韓相互理解の増進に資するとともに、日本に対する関心のさらなる向上を目指しての訪問でした。

当日、6年生は日光移動教室で不在でした（※この時の様子は、裏面参照）が、5年生が見事にその代役を務めました。まず玄関ホールで日本と韓国の小旗を振ってお出迎えをした後、体育館で1～5年生による歓迎式を行いました。児童代表による歓迎の言葉は5年生、日本語と韓国語を交えての歓迎の言葉に韓国の先生方もとても感動していらっしゃいました。記念品の交換は、韓国の先生方から韓国の「韓」の字を意味する文字の入った漆塗りのお皿をいただきました。玄関ホールに飾っておりますので、ご来校の際には、ご覧ください。東町小からは創立100周年記念の風呂敷を差し上げました。

そして、この日、私が最も感動したのは、歓迎式の最後に子供たちが歌った歓迎の歌「It's a small world」でした。一番を日本語、二番を英語で歌いましたが、どの子供も真剣な表情でしっかりと歌うその歌声と「世界は一つ」の歌詞に胸が熱くなりました。この子供たちが、将来、世界のどの国の人とも理解し合い、仲良くできる、そんな関係を築いていける人たちになってほしい、いやきっとなってくれるに違いないと思えた瞬間でした。

子供たちの姿に触発され、私は、韓国の先生方が東町小を去る時、「（韓国の）先生方が今、育てていらっしゃる子供たちと今日の東町小の子供たちが、将来、本当の意味で日本と韓国のかけ橋となることが私の何よりの願いです。」とお別れの言葉を述べました。

1月 行事予定

日	曜	行事等	放課後遊び
1	金	元日	
2	土		
3	日		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木	冬季休業日終了	
8	金	始業式 大掃除 給食開始 4時間授業	なし
9	土		
10	日		
11	月	成人の日	
12	火	席書会 安全指導	3年
13	水	4時間授業	なし
14	木	音楽朝会 保護者会(123年) 書き初め展(~1/18)	4年
15	金	避難訓練(予告なし)	5年
16	土	日本文化の時間	なし
17	日		
18	月	保護者会(456年) 書き初め展終了	6年
19	火	郷土資料館見学(3年)	3年
20	水	計測(36年) AED使用講習会(6年)	なし
21	木	児童集会 計測(25年)	4年
22	金	計測(14年) 租税教室(6年)	5年
23	土	児童英検・英検(PTA主催)	
24	日		
25	月	委員会活動	6年
26	火		3年
27	水	International Assembly(1・2校時)	なし
28	木	体育朝会	4年
29	金		2年
30	土		
31	日		



1月の生活目標

生活指導担当 三根 博喜

自分から進んであいさつをしましょう

新しい1年間が始まります。気持ちの良い挨拶とともに、新しい年を迎えましょう。

## 席書会について

国語部席書会担当 鹿島 直子

日本では、古くから「吉書始め」という宮中行事がありました。元日の早朝に汲んだ水で墨をすり、恵方に向かって祝賀や漢詩を書いていたそうです。

東町小学校でも毎年1月に「席書会」を行います。今年度は、1月12日(火)です。1,2年生は教室にて硬筆で課題に取り組みます。3年生以上は体育館にて毛筆で行います。

本校では、さまざまな国の子供たちがいるため、この学校に来て、初めて書初めに取り組むという子も多くいます。日本古来からの伝統文化にふれること、日頃の書写学習を生かして作品にまとめること、友達の作品から良さを学ぶことを目的とし、一人一人が自身と向き合い、今年1年の思いを込めて臨んでほしいと思います。書いた作品は、各教室・廊下等に掲示します。保護者会にお越しの際は、ぜひ子供たちの作品をご覧ください。

◆ 書初め展 1月14日(木)～1月18日(月)

## 日光移動教室について

6年担任 上遠野 美由紀

6月に予定されていた箱根移動教室が火山活動のため変更となり、12月2日(火)より日光移動教室として実施されました。

12月の日光はとても寒かったのですが、中禅寺湖や華厳の滝、足尾銅山を見学し、ゆば工場では日光ならではのゆば作りを体験しました。

いろいろ見学した中でも、特に児童の感想で多く取り上げられていたのが世界遺産の日光東照宮です。眠り猫を様々な角度から見たり、鳴き龍の音に耳を傾けたり、実際に見学することで、その歴史を感じ取ることができました。

卒業まで残りわずか。今回の思い出を胸に卒業までの一日一日を大切にしていきます。



## 漢字検定について

国語主任 黒江 綾菜

毎年、本校では港区の保護者負担軽減事業を活用して漢字検定を実施しています。

漢字検定へ向けて、一人一人の習熟度に応じて、自分に合った目標を設定し、それに向けて漢字の学習に取り組んでいます。昨年度は、「満点賞」を受賞した児童も数名おり、学校全体で取り組んでいる成果が出ています。

ご家庭でも、検定で合格できるように一緒に学習に取り組んでいただけると子供たちも自信をもって本番に臨めると思います。

ご協力よろしくお願いたします。

日時 : 平成28年2月5日(金) 5校時～

10～8級受検の場合 40分間

7～準2級受検の場合 60分間

会場 : 港区立東町小学校(各教室)

※ESC…別室

検定料: 全員区が負担します(一部の級を除く)

## 聴く力

音楽科担当 畠中圭一

3学期が始まり、いよいよ1年間のまとめをする時期となりました。

音楽の授業では、この1年間、子供たちの「聴く力」を育てることに重点を置いて指導してきました。「上手に歌が歌える人」「上手に楽器が演奏できる人」は、まず「上手に聴ける人」であるからです。

「学ぶ」という言葉の語源は「まねぶ」という「真似る」ことに由来していると言われていますが、その物事に長けている人を注意深く観察し、よい部分を積極的に真似ることが成長への近道であると言えます。特に、音楽のような実技教科はそれが顕著であると感じます。

自分が演奏に取り組んでいる時だけ集中するのではなく、他者の演奏も真剣に聴き、そのよいところをたくさん見付けられる子供に育ててほしいと考えています。あと3か月、子供たちの「聴く力」をさらに伸ばしていけるよう、指導を行っていきます。